



新毎日

1月29日(金)

2021年(令和3年)

発行所：北九州市小倉北区紺屋町13-1

〒802-8651 電話(093)541-3131

毎日新聞 西部本社

福岡市中央区天神1 毎日福岡会館〒810-8551

電話(092)781- 編集3100 事業3636

販売3221 営業3300

毎日新聞 福岡本部

医療と介護のトータルヘルスケア



白十字

検索

NEWSLINE



現場から

21北九州市議選

有限会社ゼムケンサービス代表

籠田淳子さん(55)

工務店を営んでいた 暴力団追放運動な
父の反対を押し切り、ど、市の取り組みは着

“見過ごし”補う役割を

建設業界に飛び込んだ 実に成果を上げてき
だ。素晴らしさを感じた。一方、50〜60代
たから選んだ仕事だ 男性のような、決ま
が、業界には女性の視 った人たちの視線で
点、力が圧倒的に足り 市政が運営されてい
ていなかった。女性が ないか、と感じること
続けられる仕事に、 もある。建設業界に似
と経営に取り組んで ってきている。気づいて
約20年。結果として北 いない、見過ごしてい
九州市が力を入れる る課題があるかもし
SDGs(持続可能な れない。ここを補うの
開発目標)とも重なり かが市議会の役割だと思
てきた。 う。多様な意見を吸

い上げ、どのような問
題が起きているかに
気づき、その上で解決
策を提示してほし
い。

建設業界で言えば、
現場の朝は早いのが、
これでは子供を保育
園に送り出して出勤
することができない。
若い世代の感覚では、

男女一緒に育児はも
っと自然なことだろ
う。将来的に就労人
口の不足が心配され
ている建設業界にと
って、変えなければな
らない常識があり、
このような点に変革
の種もあると考えてい
る。

クが進むなど、生活は
既に様変わりした。流
行が収束しても、も
はや元の世界には戻
らない。後ずさりさせ
ず、じりじりとでも
前に進まなければなら
ない。私は「不可逆的
半歩」と表現している。
五年の選挙にふさわ
しい、粘り強く創造的
な人物を選ぶ機会にし
たい。

【聞き手・井上卓也】

—おわり



女性活躍について語る籠田さん

こもりた・じゅんこ 父親から建設会社
を引き継いで2000年から現職。社員の8割
は女性で、住宅、店舗のデザインや設計、
施工に女性の視点を入れることを強みにし
てきた。建築、建設業での女性活躍を目的
とした一般社団法人けんちくけんせつ女学
校の校長も務める。